

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-246-7700(中央図書館)

年度	平成29年度		
施設名	新潟市立中央図書館(ほんぼーと)	所管部・課	中央図書館企画管理課・サービス課
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H29.5.31
歳入	15,972	正職員	25	修正日	
歳出	380,945	非常勤	15	評価日	H30.6.29

※予算は中央区・東区の合計

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	多様化する市民ニーズに対応するために必要な資料を収集し、利用の拡大を図ります。	個人への貸出点数(点) (視聴覚資料含む)	1,257,356	1,214,240	1,153,089	1,153,000	1,093,896	雑誌・視聴覚資料を含む	・社会情勢や市民ニーズに応える資料収集	目標を下回った要因は、活字離れや、2～3月の豪雪によるものと思われる。	C:未達成
3	市民	新潟市子ども読書活動推進計画に基づく事業を実施し、子どもの読書環境の整備を推進します。	学校への団体貸出冊数(冊)	24,933	29,133	33,486	33,500	34,296	図書館ビジョン「学・社・民融合型図書館」	・学校貸出図書搬送 ・学校貸出セット「オレンジBOX」の充実	学校図書館の活用が進み、特に特別支援学校と高等学校の利用が増加しました。	B:達成
4	市民	市民の身近な課題を解決するためのレファレンス(調査・相談)サービスを充実します。	レファレンス(調査・相談)件数(件)	25,835	26,441	23,879	23,000	24,525	図書館ビジョン「課題解決型図書館」	・レファレンス(調査・相談)サービスやオンラインデータベースの周知	市民へのレファレンスサービスの周知を行い、サービスの利用者が増加しました。	B:達成
5	市民	生涯学習環境の基盤整備のため、市民の資料提供の要望に応えます。	中央受取の個人予約件数(件)	138,368	142,452	143,287	143,500	137,203		・窓口、館内端末、インターネット等からの予約受付	目標を下回った要因は、活字離れによるものと思われます。	C:未達成
6	財務	管理運営費の削減をします。	光熱水費(千円)	33,132	30,225	27,972	27,500	30,548	電気、ガス、上下水道経費の合計 (H26年4月より消費税5%→8%)	・クールビズ、ウォームビズの周知徹底	豪雪により、例年より暖房経費が多かったと思われる。	C:未達成
7	業務	図書館情報システムの更新により、インターネットを使ったサービスによる利便性の向上を図ります。	HPアクセス件数(件数)	1,399,303	1,321,199	1,157,724	1,200,000	1,138,570		・キッズページの充実とデジタルアーカイブの拡充	スマホ版からの予約割合が増えているため、スマホ利用に流れていると思われる。(こちらの数値は、パソコンで閲覧した件数のみ採取)	C:未達成
8	業務	市民参画と協働を推進します。	ボランティア活動者延べ人数(人)	1,178	1,193	1,368	1,200	1,677		・ボランティア団体との共催・連携事業 ・ボランティアの育成	多くのボランティアに協力を得て開館10周年関連事業を実施したことにより増加しました。	A:達成(優)
9	人材	職員の職務遂行能力(専門的能力・接遇)の向上を図ります。	職員のスキルアップのための研修への派遣及び内部研修受講職員数(人)	195	153	240	160	281	図書館ビジョン評価指標 図書館ビジョン「効率的・効果的な運営」	・初任者研修 ・生涯学習関係非常勤嘱託新任研修	司書としての専門的研修の他、市役所職員として必要なスキルや能力向上のための研修にも、積極的に参加しました。	A:達成(優)

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>平成27年3月に策定された「新潟市教育ビジョン 第3期実施計画」「新潟市立図書館ビジョン 後期施策・事業計画」、「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、市民の読書活動を推進するための事業を実施します。</p> <p>入館者数と個人への貸出点数は減少傾向にあります。学校への貸出点数、また中央図書館受取の個人の予約件数は増加しています。団体貸出やボランティア団体との協働を増やし、個人の利用に結び付けていきます。</p>	<p>個人貸出冊数が減少傾向にあり、活字離れや冬季の悪天候が原因と思われる。増加傾向にあった個人予約件数も、平成29年度は前年を下回りました。一方、学校図書館への貸出は増加傾向にあります。</p> <p>ほんぼーと中央図書館開館10周年記念事業のうち、いくつかの事業をボランティアの協力でを行い、市民参画と協働を推進しました。今後も市民との協働を進めていきます。</p>